

北海道警察

「急な運転操作は避けて」

この時期に増えるスリップでの事故を避けるためには、警察の担当者は、急な車の操作を控えることが重要だと指摘しています。

道警本部交通企画課の課長補佐は、特に路面状態に注意が必要になるのは、橋の上だと強調しています。

その理由について、「橋の上は、地面の熱がなく路面が凍結しやすいことに加え、橋の境目は凍結していない路面と凍結している路面の境目にもなっていて、変化に気付かないと事故が起きやすい」と説明しています。

その上で、ほかにスリップが懸念される場所として、南側に高いビルなどがあって日陰になっている道路やトンネルを挙げています。

そして、事故を避けるためにドライバーが取り得る対策について、「運転時には急発進や急ブレーキ、急ハンドルなどをしていないことに加えて、防寒具を積み込むなどの準備が必要だ」と話しています。